

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 3年 9月 1日

事業所名 みらいデイサービス あすなろクラブ神埼

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	3	パーテーションやスケジュールを用いて、各々が集中して活動に取り組めるようにしている。	適時、安心して過ごせるスペースを提示していく。スケジュールにて各々の活動をすらしながら個別活動や集団活動に集中して取り組めるように配慮する。
	2 職員の配置数は適切である	11		安全に運営できる人員配置を行っている。	今後も利用者数や活動内容に見合った職員数でサポートを行っていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	10	1	衝撃防止用マットや踏み台等。	必要に応じて設備を整えていく。安心して安全に過ごせるように環境設定を行なう。保護者様の要望も確認しながら、サービス提供に繋げる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	11		毎日掃除を行い、消毒を徹底している。	今後も掃除や消毒を徹底していく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	2	職員と共有しながら実施している。	全職員が参画しながら取り組める機会を整えていく。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11		定期的に実施している。会議等を踏まえて、業務改善に繋げている。	信頼関係を構築出来るように、保護者様と連絡を密に共有を行っていく。振り返り、改善に繋げていく。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11		ホームページにて閲覧できるようにしている。	引き続き、ホームページや通信にて発信していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		11	該当なし。	必要に応じて検討事項としたい。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	9	毎年研修参加が出来ているが、コロナ禍で研修参加が出来ていない。	パソコンでの研修など、参加が出来る体制をつくっていきたい。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	10	1	ニーズを踏まえて計画書を作成している。	児童や保護者様と課題を共有しながら今後も作成していく。
	11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	10	標準化された物だけではない。	アセスメントを定期的に実施し、標準化された物も使用していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11		保護者様と共有しながら作成している。	今後も必要な支援を共有しながら計画書を作成していく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	11		全職員に共有し、支援を実施している。	今後も全職員にて共有し、支援を実施していく。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	10	1	適時、各職員にて話しかいながら実施している。	全職員にて立案が出来るように、話し合いの機会を設けていく。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	2	児童の特性を踏まえて、活動内容を検討している。	児童の特性を踏まえて、活動の実施、振り返り、改善に繋げていく。

供 へ き め ん	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	11		児童の特性を踏まえて、個別集団活動を実施。計画書を作成している。	児童の特性を踏まえて、個別集団活動を実施、計画書を作成していく。無理なく活動への参加、集団活動に取り組んでもらう。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	11		朝礼時に職員間で共有している。	今後も朝礼時に職員間で情報共有していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11		終礼時に職員間で共有している。	終礼時に職員間で情報の共有と振り返りを行い、改善に繋げていく様にする。児童の状況など、普段と違う様子や気づきがあれば保護者様へ連絡する。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11		ケース記録や日誌に記録し、改善や向上に努めている。	記録は共有し、振り返りと改善に繋げていく様にする。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	11		定期的にモニタリングを実施出来ている。	定期的に、また必要に応じてモニタリングを実施していく。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11		管理者が適時参加することが出来ている。	会議には積極的に参加して、課題解決へのアプローチが出来る様にする。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	11		関係機関と会議等にて共有し、連携が出来ている。	今後も関係機関と連携して支援に努めていきたい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	1	10	該当なし。	該当者があれば、連携した支援に努めていきたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	10	該当なし。	該当者があれば、連絡体制を整えていく。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11		適時、電話や会議等にて情報共有が出来ている。	必要に応じて、情報の共有と連携を行う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	11		適時、電話や会議等にて情報共有が出来ている。	必要に応じて、情報の共有と連携を行う。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	10	現在、機会がない。	必要に応じて、情報の共有と連携を行う。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		11	コロナ禍で機会がない。	必要に応じて、機会を設定していく。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		11	今後、参加の機会を検討する。	今後、参加の機会を検討したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11		電話連絡や連絡帳のやりとり、送迎時の引継ぎ時に伝達している。随時面談も行っている。	事業所での普段と違う様子や伝達すべき事項は速やかに連絡を行う。保護者様からの相談等も全職員で共有し、共通理解を図っていく。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）の支援を行っている	11		随時、面談等にて実施している。	必要に応じて、また要望があれば適時実施していく。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11		契約時に説明している。	契約時、または要望があれば適時説明を行っていく。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	11		適時、計画書の説明と同意を得ている。	適時、計画書の説明と同意を得ながら適切に作成を行っていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11		電話連絡や連絡帳のやりとり、送迎時の引継ぎ時に伝達している。随時面談も行っている。	保護者様の相談に適切に応じられるように努めていく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	10	コロナ禍で休止。	コロナの状況次第で検討していく。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	11		相談や申し入れには迅速に対応するように心がけている。対応の整備も実施している。	安心して利用が出来るように、対応の体制を整備し、相談には迅速に適切に対応出来るように努めていく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11		定期的にホームページの更新や通信を発行し、保護者様や関係機関へ配布、発信している。	今後も工夫をしながら定期的にホームページの更新や通信を発行し、保護者様や関係機関へ配布、発信していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	11		全職員に周知徹底している。	今後も全職員に周知徹底する。個人情報の取り扱いには十分に気をつけたい。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11		個別に応じたツールや方法にて配慮をしている。	保護者様と確認や共有をしながら各自に配慮をしていく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	10	コロナ禍で機会がない。	今後、必要があれば検討していく。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	11		契約時に説明する。定期的に訓練を実施している。	定期的に訓練を実施していく。マニュアルを周知しながら体制を整えていく。
非常時等の対応	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11		定期的に訓練を実施している。	今後も定期的に訓練を実施していく。各々の特性を踏まえて訓練に臨みたい。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	11		利用前に保護者様から聞き取りが出来ている。	利用前に保護者様から聞き取りを行い、適切に対処出来るようにする。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	11		該当なし。	利用前に保護者様から聞き取りを行い、適切に対処出来るようにする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11		事例集を作成して共有している。	振り返りや改善が出来るように作成し、同じケースがないように努める。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	11		定期的に研修を受け、全職員に周知している。	定期的に研修に参加し、全職員に周知する。虐待の芽に気づけるようにする。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11		該当なし。	該当があれば、計画書に記載して保護者様の同意を得る。